

大綱の実現に向けた2本の柱

1. 誰もが子どもを支える主役

乳幼児期、青少年期、成人期を通じて、社会全体、総ぐるみで子どもを支え、育てあげていくという意識の共有を図る中で、教育を通じて、「学び」注の意欲と自己肯定感を喚起するとともに、社会的な自立と自身の幸福を実現できる個々人の“力”を育みます。

さらに、培った“力”が、次世代の子どもたちの成長を支えていくという、確かな「学びの循環」を促すことで、真に豊かな地域社会を実現します。

注) ここで言う「学び」とは、「生きる力」(①確かな学力、②豊かな人間性、③健康と体力)を培うことを意味します。また、確かな学力とは、知識や技能に加えて、自ら課題を発見し、主体的に行動して問題解決する資質や能力、意欲までを含みます。

2. 貧困の連鎖を断ち切る教育

治安・学力・健康といった区のボトルネック的課題に深く関わり、負の連鎖を生み出す元となっている「貧困」。特に世代を超えて連鎖する、深刻な貧困を断ち切るために欠かせない役割を果たすのが「教育」です。

「自身の将来に夢や希望を見い出せない」といった厳しい環境にある子どもたちを孤立させることのないよう丁寧に支援するとともに、そこから脱出し、自立して生き抜く力を育む様々な機会を繰り返し提供します。

足立区教育大綱

平成28年2月策定

発行 足立区

編集 足立区 政策経営部 政策経営課

東京都足立区中央本町1-17-1

電話 03-3880-5811 FAX 03-3880-5610

メール seisaku@city.adachi.tokyo.jp



足立区教育大綱

～夢や希望を信じて生き抜く人づくり～

足立区教育大綱は、“これからを生き、将来、社会の担い手となる子どもたちをどのように育てあげるか”という足立区の教育に関する基本的な姿勢を示すものです。

様々な学びを通じて、夢や希望を信じて生き抜く人づくり。これが私たちの教育の原点です。

足立区教育大綱の基本理念

～夢や希望を信じて生き抜く人づくり～

0歳
から

人間形成の基礎を養う
乳幼児期

育つ

様々な出会いや
かかわりを通じて、
たくましく成長する
ための素地をつくる

身近な大人たちからの深い愛情、様々な出会い、かかわりあいを通じて、子どもたちが自己肯定感を培う時期。

- 豊かな感性や意欲を育み、「できた」という喜びを自信に変えていくとともに、基本的な生活習慣を身につけ、学びの基礎を固めていきます。
- 青少年期に向けて心も体も、ともにたくましく育つ素地をつくります。

6歳
から

自立する力を培う
青少年期

学ぶ

ともに歩み、磨きあいながら、
自身の道を切り拓く力を培う

旺盛な好奇心のもと、希望や意欲を持って行動し、様々な経験を重ねる中で、思いやりの心やコミュニケーション能力、基本的な知識やそれを活用できる思考力を身につける時期。

- 生まれ育った環境に左右されることなく、自ら学び、考え、課題を克服する中で確かな学力を身につけ、人生を切り拓いていく力を培います。
- 夢や希望を叶えるためのスタートラインに立てる機会を提供します。
- 友人たちと切磋琢磨する環境や、広い視野やグローバルな思考を持つための多様な経験・体験ができる仕組みを整えます。

18歳
から

学びの成果を還元する
成人期

支える

自ら学ぶとともに、
その経験を社会に
還元する意欲を育てる

これまで積み重ねてきた自身の幅広い経験を元に、学びの成果を社会や地域に還元し生かす時期。

- 生きがいを見い出し、さらに学びの意欲を喚起する様々な機会や場を提供します。
- 子どもたちの未来のために地域の担い手として活躍できる仕組みづくりを進め、学びの循環を促します。

教え・支え・見守り

子どもの貧困対策

早め・丁寧・切れ目のないアプローチ